

平成27年度 堺市障害者自立支援協議会 第7回 障害当事者部会
議事概要

日時	平成27年11月25日(水) 14:00~16:00
場所	堺市総合福祉会館 5階 第3研修室
出席者 (敬称略)	前田、白石、丸野、茅原、辻本、帛田、野崎、川渕、松本、梅田、三田、増田
欠席者 (敬称略)	谷口
ゲスト参加 (敬称略)	【東区障害者基幹相談支援センター】御田
事務局	【堺市障害施策推進課】森、加唐、杉本
事務局補助	【総合相談情報センター】黒木、上田、小出
傍聴	2名

● 防災について

・東区の取組み紹介

東区障害者基幹相談支援センターの御田センター長をお招きして、区協議会での防災の取組みや非常時持出し品(防災グッズ)の紹介があり、実際に試着、試食するなど行った。また、東区の防災訓練の様子をプロジェクターに映して紹介してもらった。

- ①防災の取組みとして、防災訓練の中で「煙のトンネル体験」(火事で煙に覆われて前が見えない状況を体験できる)や、疑似避難訓練として、作業所から近くの小学校(避難所)まで実際に歩いた。比較的広い道、なるべく近道を通ったが、予想よりも時間がかかったとのこと。

各小学校に毛布などの災害用備蓄倉庫が配置されていて、訓練の際に区役所の方に見せてもらい、3日分の食糧が保存されているとのこと。災害時には電気が止まると水洗トイレが流せなくなるため、災害用トイレ(マンホール上にトイレを設置)が各小学校に設置される。

統計上災害時に避難所を利用する人は3割程度で、7割は利用せず自宅などにいるとのこと。

- ②非常時持出し品(防災グッズ)の紹介では、折り畳み式のヘルメット、バケツや浮き輪になる防水リュックサック、手回しの発電機付きライト・ラジオ、ガラス片での怪我を防ぐ厚底靴を実際に試着した。水を入れるだけで食べられるアルファカミの試食も行った。
- ③啓発活動として、区民まつりなどのイベントに参加し、防災について啓発や、避難訓練ハンドブックや防災カード(防災)を東区の作業所に配布。(避難訓練ハンドブックは堺市自立支援協議会のホームページに掲載もしている。)

【委員から】

- ・防災グッズは、一般的に販売されているものなので、当事者が使うには難しい部分もある。
- ・避難所に向かうにしても、ガレキなどあれば車いす一人で向かうのは実際難しいし、避難所でもスペースの問題もあり課題はある。
- ・まず自分の身は、自分で守るべき。
- ・どうやって周知するか、また周知し続けるべき。

- ・2～3日後のビジョンが分からない。
- ・防災カードは東区だけでなく市全体ですべきでは。紙での作成ではなく不織紙（水に濡れても破れない）で作るべき。
 - ⇒・社会福祉協議会でも同じようなカードを作っているから統一したものの方が当事者も支援者も分かりやすいのでは。
- ・ICチップで情報管理（投薬情報など）できないかな？
 - ⇒・サーバーで管理しているので、震災時は停電となるので利用できないだろう。
- ・障害がない人でも、色んな場面で災害時にどのように動いたら良いのか絵が浮かばない。当事者はより浮かばない。
 - ⇒・こうやって、改めて話し合うことが良いと思う。

● ブログについて

【委員から】

- ・茨木市自立支援協議会への講師派遣レポートを掲載したいので、報告して欲しい。
 - ⇒【委員から】・今年の4月から当事者部会が立ち上がった。
 - ・凄く一生懸命で、色んな支援者、当事者がいた。
 - ・当事者交流会では、スポーツレクリエーション的なこともやっているようだ。そんなゆるやかな方が、意見が出るのかな？いや、遊びの方がメインかな。
 - ・参加者からの質問もあり、あっという間に時間が過ぎた。

● その他

【事務局から】

- ・次期委員の募集について
 - ⇒・現委員の意向確認し、次期委員を募集する原稿を提案したい。
- 【委員から】
 - ⇒・精神障害枠に発達障害を含めること、精神障害者保健福祉手帳が必ずいることなど、12月の部会でもう一度検討したい。

【事務局から】

- ・図書館の利用について
 - ⇒・前回の件（図書館で障害のある方に対し、利用促進を図るため、貸出期間を変更しているが、精神障害者が対象者に含まれていない）ことについて、担当部局に確認したところ、対象者の変更を検討中であるとのことだった。精神障害者等も対象と含めるための改正や案内板の変更を、今後進めていくとのこと。

● 次回 障害当事者部会

12月22日（金）15：00～17：00 堺市総合福祉会館 5階 第2研修室